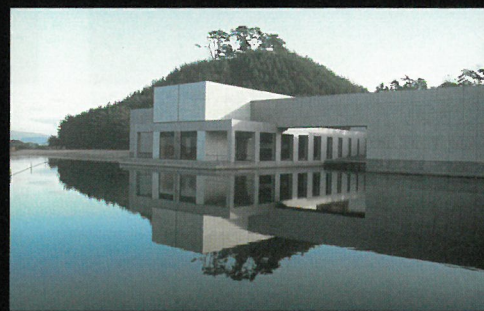


土門拳記念館

写真は肉眼を越える。

実物がそこにあるから、
実物をもう何度も見ているから、
写真はいらないと云われる
写真では、情けない。



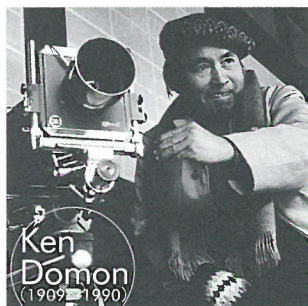
鳥海山を眺望できる、美しい自然と建物が協調した芸術空間。

飯森山公園の自然林と丘を背景に、見事な秀峰出羽富士(鳥海山)が映る絶好の場所。

記念館を囲む「拳湖」の周辺に咲く紫陽花も美しい。館内では気迫のこもった土門作品をゆったりと鑑賞。
2009年には「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に二つ星として格付けされた、日本初の写真美術館。



写真家土門拳が残した足跡を、テーマごとに順次公開。



土門拳

©藤森武

写真家。山形県酒田市に生まれる。リアリズム写真を確立した写真界の巨匠。激動の昭和期に報道写真の鬼と呼ばれ、その名は世界的に知られている。

ライフワークであった「古寺巡礼」は土門の最高傑作とされ特に著名であるが、「室生寺」「ヒロシマ」「筑豊のこどもたち」「文楽」ほか数多くの作品をのこし、いずれも不朽の名作群として名高い。

1943年に第1回アルス写真文化賞を受けたのをはじめ、1973年に紫綬褒章、1980年に勲四等旭日小綬章と多数の受賞に輝いている。1974年酒田市名誉市民第1号となった。



傘を回す子供 東京・小河内村 1937頃



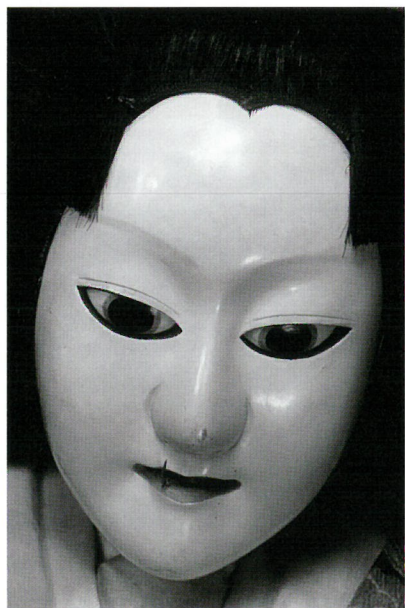
山腹のもみじ 長野・奥鹿教湯 1969



古寺巡礼 唐招提寺金堂千手観音立像左脇千手詳細 1963



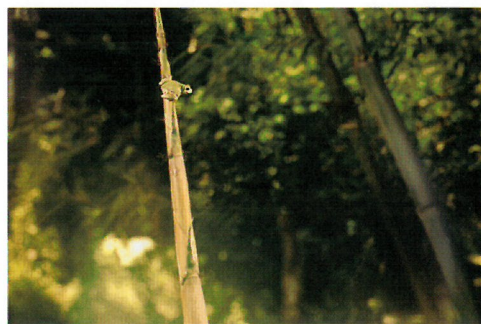
飛鳥寺 金堂釈迦如来坐像面相詳細 1964



文楽 政岡「伽羅先代萩(めいぼくせんたいはぎ)」 1941

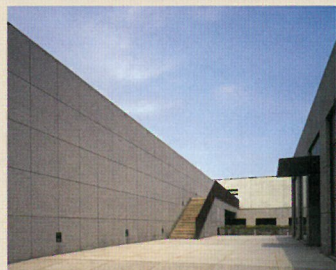


薬師寺 三重塔全景 1961



雨蛙 岐阜・美濃大萱 1963

土門拳と親交深い人々の想いが佇む記念館。



建築家
谷口吉生氏

この設計で芸術院賞など数々の賞を受賞



庭園「流れ」

華道家(草月流三代目家元)
勅使河原宏氏

作庭とオブジェを寄贈



彫刻「土門さん」

彫刻家
イサム・ノグチ氏

中庭設計・彫刻と石のベンチを寄贈



銘板(エントランス)

グラフィックデザイナー
亀倉雄策氏

エントランスの銘板を寄贈

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 4月～11月までは無休(ただし展示替えのため臨時休館あり)
12月～3月毎週月曜日(祝日のときは開館し、翌火曜日休館)
年末年始 ※詳しくはHPをチェック!

入館料 一般/430円(370円) 高校・大学生/210円(160円) 中学生以下/無料
※()内は団体料金(20名以上)
《特別展期間中は料金変更になる場合があります》《年間有効会員券あります》

●飛行機の場合(ANA)
羽田空港→庄内空港 約60分
庄内空港よりタクシー 約20分/バス 約30分
●電車の場合(JR線)
東京→新潟(上越新幹線)→酒田(羽越本線) 約4時間
酒田駅よりタクシー 約10分/バス 約16分
●乗用車の場合
日本海東北自動車道→酒田ICより約5分
(飯森山公園内駐車場をご利用ください)

Ken Domon Museum of Photography

公益財団法人 **土門拳記念館**

山形県酒田市飯森山二丁目13(飯森山公園内)
TEL・FAX 0234-31-0028
<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

